古垣鐵郎（ふるがきてつろう）　評論家。明治二十二年九月二十日鹿児島藤生れ、昭和八十一年二月八日没（一九〇一―八七）。筆名中馬藤十郎。大正九年第一高等學校卒、十一年リヨン大學卒。國際聯盟事務局員を經て、昭和四年朝日新聞社入社、二十一年日本放送協會に入り、のち會長。二十一年駐フランス特命全權大使。

著譯書『ジュネーヴ特急』（昭和八年六月十七日朝日新聞社）、『ロンドンの憂鬱』（昭和十四年十一月一日三省堂）、ジャン・リシャアル・デロック作『ツーロン港』（譯、昭和二十一年一月十日東京出版株式會社）、『荒野の誘惑』（昭和二十二年二月十日東京出版株式會社）、『ロンドンの憂鬱』（昭和二十五年六月二十日名曲堂）、『東京の窓』（昭和二十九年一月十日臺文館）、『東京―パリ』（昭和三十八年九月二十日鹿島研究所出版会）、『むら刻まれた人びと』（昭和四十二年四月二十日朝日新聞社）、『私のビュッフェ』（昭和四十八年十一月二十五日靜岡・ベルナール・ビュッフェ美術館）、『むらさき生きる人びと』（昭和四十八年十二月二十六日朝日新聞社）等。